

エコアクション21

令和5年版 環境経営レポート



高知県宿毛市平田町黒川 中筋川ダム

発行年月日 令和 6年 8月 1日



南陽建設株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境管理組織体制	4
5. 環境経営目標	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境経営目標の実績	7
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	8
9. 次年度の環境経営計画の取組内容	9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10
11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	11

発行日： 令和 6年 8月 1日

発行責任者：環境管理責任者 野口 理雄

1

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

南陽建設株式会社 全社（全組織、全活動）

対象事業所

本 社 高知県宿毛市平田町戸内 4781番地1 （常駐者： 2名）

倉 庫（無人） 高知県宿毛市平田町戸内 4787番地3

事業活動：建設業（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、
しゅんせつ工事業、水道施設工事業）、森林整備事業

【レポートの対象期間】

令和5年6月～令和6年5月

【環境経営レポートの発行日】

令和6年8月1日

【次回環境経営レポートの発行日】

令和7年8月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 野口 理雄

3. 環境経営方針

【経営理念】

南陽建設株式会社は、安全な国土・社会の形成を礎に、宿毛市の素晴らしい自然環境を次世代に継承していけるように保全し、省資源・省エネルギー化を推進し、低炭素で環境への負荷が少ない循環型社会の実現を目指すために、地域の環境保全に積極的に取り組む事業活動を行っていきます。

【基本方針】

1. 施工、監理一体型の建設工事の強みを生かし、資材調達・施工・監理・廃棄物処理等の各段階において、環境負荷の少ない事業活動を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を抑制します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を抑制します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物排出量の削減・分別及びリサイクルを推進します。
5. 事務所における節水活動により水使用量を削減します。
6. 地域のロードボランティア等の清掃活動等の社会貢献活動に積極的に参加します。
7. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. 環境経営方針は従業員に周知徹底し、環境経営の改善に継続的に取り組みます。
10. 環境経営レポート等環境情報については広く外部に公表します。
11. 働きやすい職場作りをします。

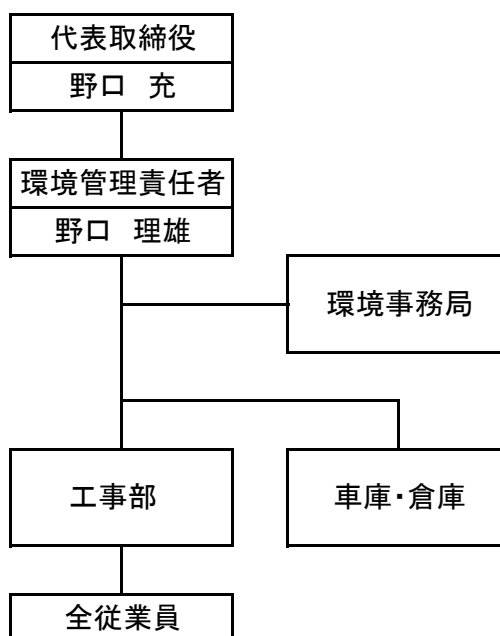
制定日：2017年4月1日

改定日：2020年6月1日

南陽建設株式会社

代表取締役 野口 充

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの確認 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境経営レポートの作成、公開 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・グリーン購入の促進
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

(基準年比7%削減を目標とする)

項目		単位	基準年 H28年度 H28.6-H29.5	R5年度 目標 R5.6-R6.5
燃料使用量	ガソリン	(ℓ)	7,598	7,066
	軽油	(ℓ)	14,021	13,040
	計	(ℓ)	21,619	20,106
	原単位	(ℓ/百万円)	491	457
電力使用量		(kWh)	8,108	7,540
	原単位	(kWh/百万円)	184	171
CO ₂ 排出量		(kg-CO ₂)	59,180	55,037
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	1,345	1,251
産業廃棄物排出量		(t)	36	34
産業廃棄物再資源化率		(%)	98	100
一般廃棄物排出量		(t)	57	56
グリーン購入量		(%)	—	30
環境負荷の少ない工事件数		(%)	100	100
社会貢献活動		(回)	5	6以上

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成27年度実績)

(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事件数

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○騒音・振動・濁水・粉塵防止対策の実施

* 4. 用水は地下水を利用しており、計測しておらず計上していない。

(2) 中長期目標

(基準年比1%ごとに削減を目標とする)

項目		単位	H28年度 実績(基準年) H28.6-H29.5	R6年度 目標 -8% R6.6-R7.5	R7年度 目標 -9% R7.6-R8.5	R8年度 目標 -10% R8.6-R9.5
燃料使用量						
	ガソリン	(ℓ)	7,598	6,990	6,914	6,838
	軽油	(ℓ)	14,021	12,899	12,759	12,619
	計	(ℓ)	21,619	19,889	19,673	19,457
	原単位	(ℓ/百万円)	491	452	447	442
電力使用量		(kWh)	8,108	7,459	7,378	7,297
	原単位	(kWh/百万円)	184	169	167	166
CO ₂ 排出量		(kg-CO ₂)	59,180	54,446	53,854	53,262
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	1,345	1,237	1,224	1,211
一般廃棄物排出量		(t)	57	55	55	54
産業廃棄物排出量		(t)	36	33	33	32
産業廃棄物再資源化率		(%)	98	100	100	100
グリーン購入量		(%)	—	30	30	30
環境負荷の少ない工事件数		(%)	100	100	100	100
社会貢献活動		回	5	6以上	6以上	6以上

6. 環境経営計画

期間： 令和5年 6月 ～ 令和6年 5月

項目		活動内容	担当責任者	
			事務所	現場
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	急発進・急加速を行わない。	野口 理雄	各現場責任者
		タイヤの空気圧、車両の点検等を定期的に行う。		
		排出ガス対策型建設機械を優先的に使用する。		
		計画的な運行計画を立てる。		
		過積載をしない。		
		アイドリングストップの実施。(現地での教育訓練を含む)		
		ecoモード運転の実施。		
		現場通通勤時の乗り合わせを行う。		
	電力使用量削減	使用しない電化製品のコンセントを抜く。	野口 理雄	各現場責任者
		エアコンの温度を夏27±1℃、冬26±2℃とする。		
		不使用のPCの電源をオフにする。		
		不要な照明の消灯。		
		こまめに電気を消す。		
		ウォームビズ、クールビズの励行。		
		冷暖房のフィルター清掃。		
		太陽光発電システムの管理。		
		断熱効果のある植物を使用した壁面緑化。		
用水使用量削減(排水量削減)		こまめに水道蛇口を閉める。	野口 智加	各現場責任者
		地下水、雨水の有効利用。		
		節水の呼び掛けを行う。		
		漏水点検を行う。		
廃棄物削減	一般廃棄物	ゴミの分別を行う。	野口 智加	各現場責任者
		コピー用紙の両面使用。		
		ミスコピーの使用。		
		剪定・伐採後の木・枝・葉の再生、再利用(木質バイオマス)(株)グリーン・エネルギー研究所への搬入。	野口 理雄	各現場責任者
	産業廃棄物	マニフェスト票による管理の徹底。	野口 理雄	各現場責任者
廃棄物の分別を行う。				
グリーン購入		特定調達品目、エコマーク商品の優先購入。	野口 智加	各現場責任者
環境負荷の少ない工事実施		県内産資材の利用。	野口 理雄	各現場責任者
		低騒音・排出ガス対策型建設機械を使用する。		
		間伐材を使用した木製看板・木製型枠の使用。		
		再生素材の有効利用。		
		建設副産物等の未利用資源の有効利用。		
		防音・防振・防塵・濁水防止対策の実施。		
		「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議。		
社会貢献活動		ロードボランティア・清掃活動への参加。	野口 理雄	各現場責任者
		プルタブ、ペットボトルキャップ等の学校への寄付。		

7. 環境経営目標の実績

<総量>

(1) 本年度実績

項目		単位	基準年 H28年度 H28.6-H29.5	R3年度 実績 R3.6-R4.5	R4年度 実績 R4.6-R5.5	R5年度 目標 R5.6-R6.5	R5年度 実績 R5.6-R6.5	目標値／実績値 (%) 達成率	評価
化石燃料使用量	ガソリン	(ℓ)	7,598	6,727	7,088	7,066	7,524	94	△
	軽油	(ℓ)	14,021	18,176	9,758	13,040	11,253	116	○
	計	(ℓ)	21,619	24,903	16,846	20,106	18,777	107	○
	原単位	(ℓ/百万円)	491	356	301	457	313	146	○
電力使用量		(kWh)	8,108	7,031	7,349	7,540	7,375	102	○
原単位		(kWh/百万円)	184	100	131	171	123	139	○
CO ₂ 排出量		(kg-CO ₂)	59,180	66,262	45,552	55,037	50,434	109	○
原単位		(kg-CO ₂ /百万円)	1,345	947	813	1,251	841	149	○
産業廃棄物排出量		(t)	36	245	35	34	200	17	×
一般廃棄物排出量		(t)	57	57	11	56	14	400	○
産業廃棄物再資源化率		(%)	98	99	97	100	100	100	○
グリーン購入量		(%)	-	35	30	30	30	100	○
環境負荷の少ない工事件数		(%)	100	100	100	100	100	100	○
社会貢献活動		回	5	6	6	6	6	100	○

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)
(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事件数
○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○型枠、工事看板への間伐材の使用
○騒音・振動・濁水・粉塵防止対策の実施
- * 4. 用水は地下水を利用しており、計測しておらず計上していない。
○達成率＝目標/実績×100
○目標比率＝実績/目標×100
- * 5. 評価 ○:達成(100%以上) △:不十分(99%～90%) ×:未達成(90%以下)

<環境経営目標未達成理由>

- ・化石燃料使用量(ガソリン使用量)は、遠方の現場が多かったため達成できなかった。
- ・産業廃棄物排出量の増加は、基準年に比べて構造物取壊しを行う工事を受注したため達成できなかった。

(2) エネルギーコスト概算

	単位	使用量	単価	金額
電力	kWh	7,375	30.6	225,675
ガソリン	ℓ	7,524	172.5	1,297,890
軽油	ℓ	11,253	147	1,654,191
合計金額				3,177,756

年間のエネルギーコストは概算で318万円

当該年度を基準とし、CO₂排出量を5%削減した場合、約16万円の節約となる。

(3) CO₂ → 1トン当たりのエネルギーコスト

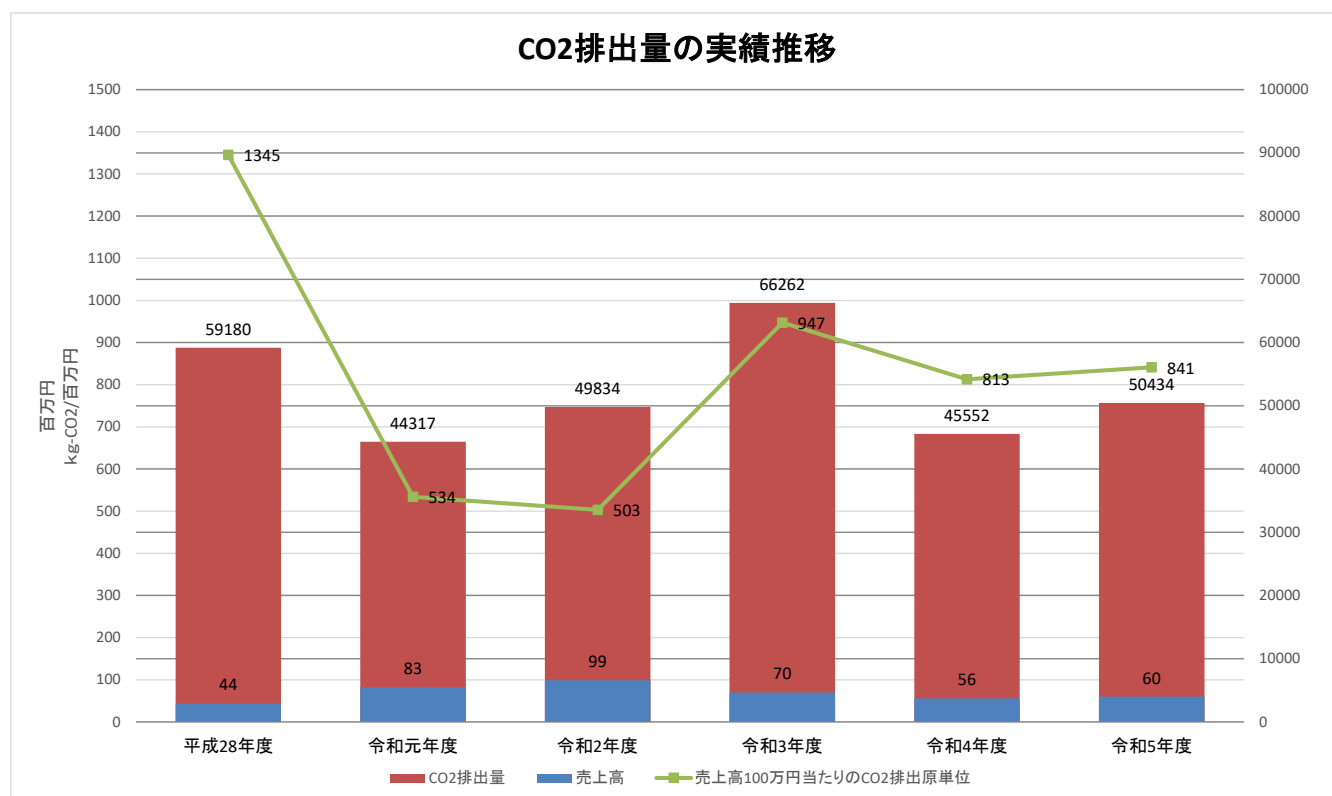
R5年の試算では、1トン当たりのCO₂は6.3万円となる。

(4)CO2排出量の実績推移

年度	単位	平成28年度 (基準年)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値 (基準年の-7%)
売上高	百万円	44	83	99	70	56	60	-
CO2排出量	kg-CO2	59180	44317	49834	66262	45552	50434	55037
売上高100万円当たりのCO2排出原単位	kg-CO2/百万円	1345	534	503	947	813	841	1251

○CO2排出量は、総排出量及び売上高100万円あたりのCO2排出原単位で目標達成することができた。

○CO2排出量とCO2排出原単位はR2年を除いて相関性が良いと言える。



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間:令和5年 6月 ～ 令和6年 5月

項目		活動内容		取組結果と見直し
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	急発進・急加速を行わない。	○	現場通退勤時の乗り合わせ以外は概ね実行できた。 今後も継続する。 定例会で周知徹底する。
		タイヤの空気圧、車両の点検等を定期的に行う。	○	
		排出ガス対策型建設機械を優先的に使用する。	○	
		計画的な運行計画を立てる。	○	
		過積載をしない。	○	
		アイドリングストップの実施。(現地での教育訓練を含む)	○	
		ecoモード運転の実施。	○	
		現場通退勤時の乗り合わせを行う。	△	
	電力使用量 削減	使用しない電化製品のコンセントを抜く。	○	実行できた。 今後も継続する。
		エアコンの温度を夏27±1℃、冬26±2℃とする。	○	
		不使用のPCの電源をオフにする。	○	
		不要な照明の消灯。	○	
		こまめに電気を消す。	○	
		ウォームビズ、クールビズの励行。	○	
		冷暖房のフィルター清掃。	○	
		太陽光発電システムの管理。	○	
水使用量削減 (排水量削減)		断熱効果のある植物を使用した壁面緑化。	○	実行できた。 今後も継続する。
		こまめに水道蛇口を閉める。	○	
		地下水、雨水の有効利用。	○	
		節水の呼び掛けを行う。	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	漏水点検を行う。	○	実行できた。 今後も継続する。 定例会で周知徹底する。
		ゴミの分別を行う。	○	
		コピー用紙の両面使用。	○	
		ミスコピーの使用。	○	
	産業廃棄物	剪定・伐採後の木・枝・葉の再生、再利用(木質バイオマス)(株)グリーン・エネルギー研究所への搬入。	△	実行できた。 今後も継続する。
		マニフェスト票による管理の徹底。	○	
		廃棄物の分別を行う。	○	実行できた。 今後も継続する。
			○	
グリーン購入		特定調達品目、エコマーク商品の優先購入。	○	今後も継続する。
環境負荷の少ない工事実施		県内産資材の利用。	○	実行できた。 今後も継続する。
		低騒音・排出ガス対策型建設機械を使用する。	○	
		間伐材を使用した木製看板・木製型枠の使用。	○	
		再生素材の有効利用。	○	
		建設副産物等の未利用資源の有効利用。	○	
		防音・防振・防塵・濁水防止対策の実施。	○	
		「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議。	○	
社会貢献活動		ロードボランティア・清掃活動への参加。	○	今後も継続する。 定例会で周知徹底する。
		プルタブ、ペットボトルキャップ等の学校への寄付。	△	

※ 達成状況の評価

○:達成 △:不十分 ×:未達成

9. 次年度の環境経営計画の取組内容

期間： 令和6年 6月 ～ 令和7年 5月

項目		活動内容	担当責任者	期日	関連SDGs
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	急発進・急加速を行わない。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月	 
		タイヤの空気圧、車両の点検等を定期的に行う。		令和7年5月	
		排出ガス対策型建設機械を優先的に使用する。		令和7年5月	
		計画的な運行計画を立てる。		令和7年5月	
		過積載をしない。		令和7年5月	
		アイドリングストップの実施。(現地での教育訓練を含む)		令和7年5月	
		ecoモード運転の実施。		令和7年5月	
		現場通退勤時の乗り合わせを行う。		令和7年5月	
	電力使用量 削減	使用しない電化製品のコンセントを抜く。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月	
		エアコンの温度を夏27±1℃、冬26±2℃とする。		令和7年5月	
		不使用のPCの電源をオフにする。		令和7年5月	
		不要な照明の消灯。		令和7年5月	
		こまめに電気を消す。		令和7年5月	
		ウォームビズ、クールビズの励行。		令和7年5月	
		太陽光発電システムの管理。		令和7年5月	
		断熱効果のある植物を使用した壁面緑化。		令和7年5月	
水使用量削減 (排水量削減)		こまめに水道蛇口を閉める。	野口 智加 各現場責任者	令和7年5月	
		地下水、雨水の有効利用。		令和7年5月	
		節水の呼び掛けを行う。		令和7年5月	
		漏水点検を行う。		令和7年5月	
廃棄物削減	一般廃棄物	ゴミの分別を行う。	野口 智加 各現場責任者	令和7年5月	  
		コピー用紙の両面使用。		令和7年5月	
		ミスコピーの使用。		令和7年5月	
		☆段ボール、カタログ等のリサイクル		令和7年5月	
		☆空き缶のリサイクル		令和7年5月	
	剪定・伐採後の木・枝・葉の再生、再利用(木質バイオマス) (株)グリーン・エネルギー研究所への搬入。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月		
	産業廃棄物	マニフェスト票による管理の徹底。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月	
廃棄物の分別を行う。		令和7年5月			
グリーン購入		特定調達品目、エコマーク商品の優先購入。	野口 智加 各現場責任者	令和7年5月	
環境負荷の少ない 工事実施		県内産資材の利用。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月	   
		低騒音・排出ガス対策型建設機械を使用する。		令和7年5月	
		間伐材を使用した木製看板・木製型枠の使用。		令和7年5月	
		再生素材の有効利用。		令和7年5月	
		建設副産物等の未利用資源の有効利用。		令和7年5月	
		防音・防振・防塵・濁水防止対策の実施。		令和7年5月	
		☆ICT施工による効率化の推進。		令和7年5月	
		☆SDGsによる取組の推進。		令和7年5月	
		「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議。		令和7年5月	
社会貢献活動		ロードボランティア・清掃活動への参加。	野口 理雄 各現場責任者	令和7年5月	 
		プルタブ、ペットボトルキャップ等の学校への寄付。		令和7年5月	
		☆地域行事への参加。		令和7年5月	

☆新規追加活動

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	遵守状況		
				評価	確認者	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
	第7条の13項	一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	廃棄物排出時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回 毎年6月末	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
	第14条 第14条の一12項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可(5年毎に更新) 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ 3ヶ月前	○	野口 智加	令和6年 6月3日
	規則第8条	保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)	必要時		野口 理雄	令和6年 6月3日
労働安全衛生法	第88条第2項	建設工事計画の届出 (作業開始30日前までに所轄労働基準監督署に届出)	必要時		野口 智加	令和6年 6月3日
	第88条第3項	建設工事計画の届出 (作業開始14日前までに所轄労働基準監督署に届出)	必要時		野口 智加	令和6年 6月3日
	第88条第4項	参画者の資格	必要時		野口 智加	令和6年 6月3日
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	○	野口 拓	令和6年 6月3日
	第9条 第10条	分別解体等の実施 解体:床面積80m ² 以上 新築・増築:床面積500m ² 以上 対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	○	野口 智加	令和6年 6月3日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時		野口 智加	令和6年 6月3日
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時		野口 智加	令和6年 6月3日
水質汚濁防止法	第14条二の二	事故等により油を含む水が公共用水域に排出、又は地下等に浸透した場合の対応 (事故の状況及び講じた措置の概要を県知事に提出)	必要時	○	野口 拓	令和6年 6月3日
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	国土交通省告示第348号	工事用建設機械等の排出ガス対策型使用を確認 建設機械の操作方法の統一	必要時	○	野口 拓	令和6年 6月3日
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	建設省告示第1536号	工事用建設機械等の排出ガス対策型使用を確認	必要時	○	野口 拓	令和6年 6月3日
フロン排出抑制法	第5条	定期点検の実施 重機点検者が3ヶ月に1回以上、簡易点検を行い結果を記録する	3ヶ月に1回以上	○	野口 拓	令和6年 6月3日
高知県環境基本条例	第6条	事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
高知県清流保全条例	第2条	事業者の清流保全の努力	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
四万十市四万十川の保全及び振興に関する基本条例	第7条	景観保全に関する届け出	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日
宿毛市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第35条	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理。廃棄物の再生利用等を行うことによりその削減に努める。	必要時	○	野口 理雄	令和6年 6月3日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年 6月より 令和6年 5月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

南陽建設株式会社

期間: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

■定期見直し

□臨時見直し

代表取締役 野口 充

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありません。				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 是正処置及び予防処置はありません。				今後も定めた方針で実施する。	
【報告】 電気、化石燃料について：月間実績値が年間月平均値を3割超えた理由					
・電力2：倉庫の整理整頓のため。 ・ガソリン：営業の時間が増えたため。 ・建設現場等のガソリン：遠方(三原村)の現場があったため。 ・建設現場等の軽油：重機使用現場が増えたため。					
<改善提案> 特になし。					
【目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画】	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	変更の必要性： ☒ 有 ☐ 無	
化石燃料使用量	△	○	遠距離の現場が多かったため目標達成できなかった。今後も継続する。	目標設定値が古いので実績値を見ながら中長期目標値の見直しを行う必要がある。	
電力使用量	○	○	今後も継続する。	環境経営計画で取り組み不十分な活動については定例会等で実行性を確認する。	
二酸化炭素排出量	○	○	今後も継続する。	【実施体制】	
産業廃棄物排出量	×	○	分別処理はできており、今後も削減に努めていく。	変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
産業廃棄物再資源化率	○	○	今後も継続する。	環境経営に関する役割・責任・権限は有効に機能しており、現時点で体制の変更はない。	
一般廃棄物排出量	○	○	今後も継続する。		
グリーン購入	○	○	今後も継続する。		
環境負荷の少ない工事	○	○	今後も継続する。		
社会貢献活動	○	○	今後も継続する。	【環境経営システム】	
<改善提案> 現場への乗り合わせ、剪定枝等の再利用、プルタブ等の学校への寄付等、不十分な活動があり、定例会等で周知徹底し、改善する必要がある。				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
<改善提案> 現場への乗り合わせ、剪定枝等の再利用、プルタブ等の学校への寄付等、不十分な活動があり、定例会等で周知徹底し、改善する必要がある。				建設業者向けガイドライン2017年版に基づいて取り組んだ。環境経営システムは有効に機能しており変更の必要はない。	
【周囲の変化の状況】				【総括】	
①外部コミュニケーション記録より 環境に関する外部からの苦情や要望等はありません。				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。工事の受注内容や規模により大きく偏りがあるため、評価し難いが、今後も活動を継続し環境に対する意識を高め、評価の向上に繋げたい。今後、ICT施工にも力を注ぎ、作業効率向上からの工期短縮、人手不足の解消等に向けて活動し、環境にやさしい施工、CO2排出量削減を目指し、さらなる評価の向上に期待したい。	
②環境関連法規制等の動向他 改定はありません。					
<改善提案> 特になし。					
代表者が自ら得た情報					
本年は例年に比べ、遠方の現場が多く、産業廃棄物排出量が多い工事を受注したことが原因で目標を達成することができなかったが、しっかり活動できていた。今後も継続して全員の意識向上によって取り組む。					